

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和3年9月30日

【中間会計期間】 自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日

【発行者の名称】 デンマーク地方金融公庫 (KommuneKredit)

【代表者の役職氏名】 最高経営責任者兼マネジング・ディレクター
Jens Lundager

マネジング・ディレクター
Henrik Andersen

【事務連絡者氏名】 弁護士 黒丸博善

【住所】 東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー23階
T M I 総合法律事務所

【電話番号】 東京(03) 6438-5511

【縦覧に供する場所】 該当なし

第1【募集（売出）債券の状況】

売出債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中 の償還額	当該半期末 の未償還額
デンマーク地方金融公庫 2027年7月30日満期 トルコ・リラ建 ディスカウント債券	2012年7月	2,500万 トルコ・リラ	2,500万 トルコ・リラ	0	2,500万 トルコ・リラ
デンマーク地方金融公庫 2021年2月23日満期 豪ドル建債券	2014年2月	600万豪ドル	600万豪ドル	600万豪ドル	0
デンマーク地方金融公庫 2022年8月22日満期 トルコ・リラ建債券	2015年8月	13,000,000 トルコ・リラ	13,000,000 トルコ・リラ	0	13,000,000 トルコ・リラ
デンマーク地方金融公庫 2021年2月3日満期 ブラジル・レアル建債券 (円貨売買型)	2018年1月	68,700,000 ブラジル・レ アル	68,700,000 ブラジル・レ アル	68,700,000 ブラジル・レ アル	0
デンマーク地方金融公庫 2021年4月満期 メキシコペソ建債券	2018年4月	30,300,000 メキシコペソ	30,300,000 メキシコペソ	30,300,000 メキシコペソ	0
デンマーク地方金融公庫 2021年4月満期 ブラジルレアル建債券 (円貨決済型)	2018年4月	204,100,000 ブラジルレ アル	204,100,000 ブラジルレ アル	204,100,000 ブラジルレ アル	0
デンマーク地方金融公庫 2021年4月満期 インドルピー建債券 (円貨決済型)	2018年4月	652,500,000 インドルピー	652,500,000 インドルピー	652,500,000 インドルピー	0

2021年上半期中において、上記債券の所有者の権利等に重要な悪影響を与える事実は発生しなかった。

第2【発行者の概況】

注(1) 「公庫」とは、デンマーク地方金融公庫を意味する。

(2) 本書中、別段の記載がない限り、「デンマーク・クローネ」または「DKK」と表示される金額はデンマーク王国の通貨であるデンマーク・クローネを意味する。2021年9月22日現在、東京の主要銀行により公表されたデンマーク・クローネに対する日本円の為替相場の中値は1デンマーク・クローネにつき17.21円であった。

(3) デンマーク地方金融公庫の事業年度およびデンマーク王国の会計年度は暦年である。

(4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

1【概況】

2021年上半期の業績

2021年上半期の価値調整前当期利益は、当期予想に沿うものであった。貸付およびリースの業務の水準は予想を上回って貸付高（純額）が38億デンマーク・クローネとなり、この増加が下半期も続くとの想定から公庫は年間予測を引き上げた。

収益および自己資本

2021年上半期において純受取利息は、前年同期から4,100万デンマーク・クローネ減少して1億8,000万デンマーク・クローネとなった。資産合計に対する持分の比率は3.7%であり、純受取利息の水準を維持する必要はなかった。

2021年上半期中、公庫は、補助金付きローンの管理および当該ローンの支払いの配分について、公共サービス支払当局（Udbetaling Danmark）との対話を終了した。2020年の年次報告書においては、この問題は偶発債務として理解されていた。結果的に公庫は、公共サービス支払当局に1,000万デンマーク・クローネ弱の補償を支払った。補償金額は、包括利益計算書で支払利息として認識されている。

管理費用は、2020年同期の6,700万デンマーク・クローネから2021年上半期には6,800万デンマーク・クローネに増加した。この増加は主に公庫の変革プログラムを支える新たな従業員の採用によるものであり、これが人件費の増加をもたらした。年間の管理費は引き続き資産合計の約0.06%を占めた。

当上半期の価値調整前当期利益は1億900万デンマーク・クローネとなり、2020年上半期から4,300万デンマーク・クローネ減少した。2021年について2億4,000万デンマーク・クローネの価値調整前利益が予想されていたことと比較すると、かかる上半期の業績は予想と合致している。

金融商品の価値調整は、2020年上半期の3,500万デンマーク・クローネに対して、2021年上半期には1億9,000万デンマーク・クローネであった。この価値調整は主に、固定金利リース契約のデリバティブ・ヘッジ取引の調整、ならびにローンおよびデリバティブの早期返済によるものであった。

当期包括利益は、前年同期の1億4,500万デンマーク・クローネに対して、2億3,300万デンマーク・クローネとなった。この増加は、主にプラスの価値調整が増加したことによる。当期包括利益は持分に組み入れられ、持分は現在合計86億3,000万デンマーク・クローネに達している。公庫の持分は全体が利益剰余金からなり、このため普通株式等Tier 1（CET 1）資本と持分は一致する。

公庫の活動を支えるため、持分を少なくとも資産の3.0%にすることが理事会の目標である。公庫の資産合計に対する持分の比率は3.7%であるため、この理事会の目標は達成されている。

自己資本比率（リスク・エクスポージャー総額に対する自己資本の比率）は、2020年12月31日現在の72%から2021年6月30日現在で70%に低下した。これは、公庫が、第2次資本要件規則（カウンターパーティ信用リスクに係る標準的手法）（CRR II（SA-CCR））というEU規則に基づいてカウンターパーティ信用リスクの新たな計算手法を導入したことに起因した。この新しい手法が公庫のカウンターパーティに係

るエクスポージャーの計算結果を増加させ、手法の導入により増加したリスク・エクスポージャー総額（REA）が自己資本比率を低下させた。

貸付およびリース

2021年上半期に、リースを含めた貸付総額は、2020年末と比べて13億デンマーク・クローネ減少して1,912億デンマーク・クローネとなった。この減少の内訳には、貸付高（純額）（すなわち、新規の貸付高およびリース額のうち分割返済額および償還金額を超える部分）の38億デンマーク・クローネの増加も含まれるが、一方で貸付の価値調整が51億デンマーク・クローネ減少し、これらの通算により貸付総額は減少となった。

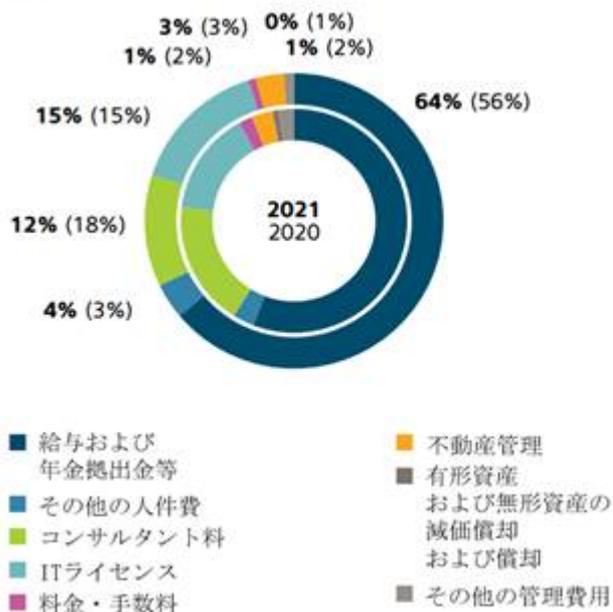
堅調な貸付高（純額）は前年同期と同水準であった。政府およびデンマークの州との間の予算合意により、停止されていた休暇基金の支払いのために州は金員の借入れができるようになり、これを受けて公庫は下半期の貸付高（純額）が以前の予想より多い60億デンマーク・クローネ強になると予想している。

資金調達および投資

2021年上半期、公庫は主に、合計225億デンマーク・クローネにのぼるユーロおよび米ドル建ての公募債発行により資金調達を行った。また、英ポンド、スイス・フラン、ノルウェー・クローネおよびスウェーデン・クローナ建てで小規模な発行も実施した。為替ヘッジ取引前の資金調達残高の大部分は、引き続きユーロ、米ドルおよびデンマーク・クローネ建てである。

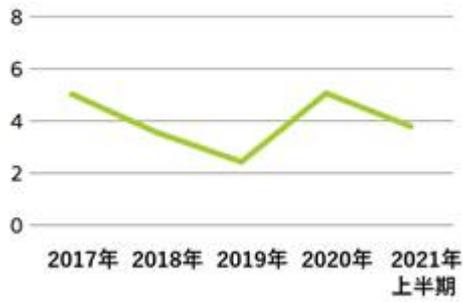
投資総額（信用機関への債権および証券ポートフォリオ）は、流動性資金の増加に伴い、2020年末現在の336億デンマーク・クローネから371億デンマーク・クローネに増加した。

管理費用



貸付高（純額）の推移

十億デンマーク・クローネ



新型コロナウイルス感染症（COVID - 19）

新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は資本市場に影響を与えたが、公庫の顧客のニーズに応える能力に影響はなかった。市場が完全に閉鎖された場合でも、公庫の総流動性資金により非常に長期にわたり貸付が影響を受けない状態を持続させることが可能である。公庫の全ての業務は、従業員の所在にかかわらず遂行することが可能である。

2【資本構成】

デンマーク地方金融公庫の資本構成

	<u>2021年6月30日現在</u> (百万デンマーク・クローネ)
発行債券(注1および注2)	216,970
デリバティブの公正価値	<u>7,501</u>
その他の負債、年金および税を除く負債合計	<u>224,472</u>
その他の負債、年金および税合計	<u>1,266</u>
負債合計	<u>225,738</u>
持分	
2021年1月1日現在の持分	8,397
税引後当期利益	<u>233</u>
2021年6月30日現在の持分	<u>8,630</u>
資本合計	<u>234,368</u>

注(1) 指数連動債に関して、残高は指数変動による調整を含む。

(2) 外国通貨による借入は、2021年6月30日の実勢為替レート、あるいは2021年中の借入に関しては実行日の為替レートにより、デンマーク・クローネに換算されている。

2021年6月30日以降、公庫の資本構成に重大な変化はなかった。

3 【組織】

2021年上半期中およびそれ以降において、公庫の組織に重大な変更はなかった。

4【経理の状況】

2021年1月1日から2021年6月30日までの期間の中間財務書類は、公庫の独立監査人であるデロイト公認会計士パートナーシップのAnders Oldau GjelstrupおよびJens Ringbæk（国家の承認を受けた公認会計士）によりレビューされ、さらに省により任命された監査役であるThorkil Juulによりレビューされている。

2021年および2020年6月30日現在または2021年および2020年6月30日に終了した6か月間の公庫の中間財務書類（レビュー済）は、以下のとおりである。

2021年1月1日から6月30日までの期間についての
 包括利益計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2021年 上半期	2020年 上半期
受取利息		749	863
支払利息		-568	-642
純受取利息		180	221
その他の営業利益		3	5
その他の営業費用		-7	-8
管理費用		-68	-67
価値調整前当期利益		109	152
金融商品の価値調整		190	35
税引前当期利益		299	186
当期利益課税額		-66	-41
当期利益		233	145
その他の包括利益			
保険数理上の損益		0	0
保険数理上の損益に対する税額		0	0
当期包括利益		233	145
計上先は以下の通り：			
持分への組入		233	145
合 計		233	145

2021年6月30日現在の貸借対照表

資 産

(単位：百万デンマーク・クローネ)

		2021年	2020年
	注記	6月30日現在	12月31日現在
信用機関への債権	3	305	22
貸付	3	183,195	184,807
リース		7,961	7,650
証券ポートフォリオ	3	36,745	33,568
デリバティブ	3、4	5,991	7,670
その他の資産		136	120
当期税金資産		34	35
資産合計		234,368	233,872

負 債 および 持 分

(単位：百万デンマーク・クローネ)

		2021年	2020年
	注記	6月30日現在	12月31日現在
負 債			
信用機関への債務		257	50
発行債券	3	216,970	212,728
デリバティブ	3、4	7,501	11,722
その他の負債		498	479
当期税金負債		39	23
繰延税金負債		473	473
負債合計		225,738	225,475
持 分		8,630	8,397
負債および持分合計		234,368	233,872

2021年1月1日から6月30日までの期間についての持分変動計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

注記	2021年 上半期	2020年 上半期
持分		
1月1日現在の持分	8,397	8,179
持分への組入		
当期利益	233	145
その他の包括利益		
保険数理上の損益	0	0
その他の包括利益に対する税額	0	0
その他の包括利益(税引後)	0	0
持分への組入合計	233	145
6月30日現在の持分	8,630	8,324

当期包括利益は公庫の定款に従い持分(資本)に組入れられる。

持分は、2020年度末の83億9,700万デンマーク・クローネから2021年6月30日現在には86億3,000万デンマーク・クローネに増加した。2021年6月30日現在、資産合計に対する持分の割合は2020年度末現在よりわずかに上昇して3.7%となった。持分は組入れられた包括利益全体からなる。

公庫に適用される法的枠組みの下では、持分は負債合計の少なくとも1.0%(すなわち22億5,700万デンマーク・クローネ)に等しくなければならない。理事会の目標は、資産に対する持分の割合を公庫の活動を支えるために適切と考えられる3%に少なくともすることである。

持分には、200万デンマーク・クローネの再評価準備金が含まれている。

2021年1月1日から6月30日までの期間についての キャッシュフロー計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2021年 上半期	2020年 上半期
税引前当期利益		299	186
減価償却費、償却費および減損費用		0	1
合計		299	187
純受取利息		-180	-221
受取金融収益		749	863
支払金融費用		-568	-642
支払法人税		-50	-52
貸付の変動		1,300	-5,734
その他の資産の変動		-15	201
その他の負債の変動		19	-248
営業活動からのキャッシュフロー		1,255	-5,832
証券の変動		-3,178	7,373
投資活動からのキャッシュフロー		-3,178	7,373
発行債券の変動		4,242	-2,504
デリバティブ金融負債		-4,221	2,341
デリバティブ金融資産		1,679	-1,586
財務活動からのキャッシュフロー		1,700	-1,750
現金・現金同等物残高の変動		76	-22
信用機関への預け金		22	5
信用機関への短期債務		0	-80
1月1日現在の現金・現金同等物残高		22	-75
信用機関への預け金		305	9
信用機関への短期債務		-207	-107
6月30日現在の現金・現金同等物残高		98	-98

注 記

注記1 会計方針

一 般

本中間報告書の対象期間は、2021年1月1日から同年6月30日までである。

中間報告書は、欧州連合（EU）が採用している国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」および追加的な中間報告開示要件に従い表示されている。

別途記載されていない限り、中間報告書の金額は全て百万デンマーク・クローネ単位で記載されている。記載されている合計額は、四捨五入前の実際の金額に基づき計算されたものである。金額は百万デンマーク・クローネ単位に四捨五入されているため、個別の金額の合算額と合計表示額とで多少の差額が生じる場合がある。

以下に記載される変更点を除き、会計方針は、2020年度の年次報告書で適用されている方針から変更されていない。会計方針の全容は年次報告書を参照のこと。

会計方針の変更点

2021年に公庫は、EUにより採用され、2021年1月1日以降に開始する会計年度について適用される新基準または改訂基準を施行し、これらに準拠した。これらには特に、「金利指標（IBOR）改革 - フェーズ2に関するIFRS第9号、IAS第39号およびIFRS各号の改定」が含まれる。

金利指標改革の結果、ロンドン銀行間取引金利（LIBOR）は2021年末にほぼ廃止される。公庫はこれらの金利を参照するデリバティブを主に保有しているが、その大半についてエクスポージャーはヘッジされている。この変更により、ボラティリティが高まることはあっても、デリバティブの評価には限定的な影響が生じるにすぎないと考えられている。

2021年事業年度以降に発効し2021年度の財務報告に影響を与えると考えられる新規のまたは改正された国際財務報告基準（IFRS）および解釈指針はない。

重要な会計上の見積りおよび判断

中間財務書類の作成において、経営陣は多くの会計上の見積りおよび判断を行う。この見積りおよび判断は、経営陣が合理的かつ現実的であると判断した仮定に基づき会計方針に従ってなされるが、これらは本質的に不確定で予測不能である。会計上の見積りおよび判断は、過去の実績および将来の状況の評価が確実に反映されるよう、継続的なプロセスによりテストおよび評価される。

公正価値の算出が市場で直接観測できないインプットに基づく場合、および反対の影響が示されない場合、会計上の見積りおよび判断は財務書類に重要な影響を有するとみなされる。

特に、債券サーキットを構成しない発行債券の評価に関する見積りおよび判断は、財務書類に影響を与える可能性がある。これらの債券には活発な市場が存在せず、結果としてその評価には重要な会計上の見積りが用いられる。

一部のデリバティブの評価に用いる見積りおよび判断もまた、市場で直接観測可能な価格が存在しないことから、財務書類に影響を与える可能性がある。一般に認められているキャッシュフローモデルの観測可能なインプットで代用されている。

債券サーキットを構成しないローンの評価において、観測可能な市場が存在せず、それゆえ公庫は独自のさしあたりの貸付価格を市場価格として適用している。

その他の全ての金融商品について、その評価に重要な見積りは含まれていない。これらの商品には、活発な市場における相場価格が存在するか、または適用される見積りに重要な会計上の影響がないためである。

2020年度の年次報告書と比較して会計上の見積りに変更はなく、金融商品の公正価値に関する会計判断および見積りの決定のために適用される方法および原則の全容は、2020年度の年次報告書に記載されている。

COVID-19は、公庫の包括利益または財政状態に重大な影響を及ぼさなかった。追加情報については、management's review (訳者注：英文Interim Report First Half 2021における「management's review」という項目を指す。)に記載されている。

注記2 貸借対照表日後の事象

貸借対照表日後に生じた重要な事象はない。

注記3 公正価値

IFRS第13号に従い、公正価値で測定される金融商品は、その公正価値が決定される方法および基準とするデータによって、公正価値についてのレベル1から3の階層に分類されなければならない。公正価値は、金融資産または金融負債が必要な知識を持つ自発的な取引相手との間で取引されうる価額である。

公正価値は、以下の階層に従い測定される。

レベル1：

同一の資産または負債についての活発な市場における相場価格。

レベル2：

類似の資産もしくは負債についての活発な市場における相場価格に基づくか、または観測可能なインプットにより実質的に基礎付けられるその他の評価手法に基づく、観測可能なインプット。

レベル3：

評価が観測可能なインプットによっては実質的に基礎付けられていない、観測不能なインプット。

レベル2およびレベル3の公正価値は、一般に認められているモデルに基づき評価される。公庫は、A) 流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格、ならびにB) 全ての見積りキャッシュフローおよび固定キャッシュフローをゼロクーポン・イールド・カーブ、金利の期間構造およびオプション・モデルを用いて割り引く割引キャッシュフローモデルの双方を用いている。

A) 公庫は、発行債券および貸付の一部につき、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格を用いており、これを債券サーキットという。債券サーキットはモーゲージ信用残高の原則に基づいていることで特徴づけられ、公庫が発行した債券を構成する条件が債券発行により調達された資金による顧客への貸付に直接転嫁され、公庫が決定した貸付マージンが加えられる。

これらの債券は全てナスダック（コペンハーゲン）で発行されているが、債券はその取引頻度および取引量が不十分であるため非流動的である。したがって、上場市場での価格は使用できず、その代わりに、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の上場市場での価格が用いられる。類似の証券とは、類似の特性を有するモーゲージ債または政府債である可能性がある。顧客への貸付に対する信用リスクは、発行債券に対応しているため、発行債券の価格は債券発行により調達された資金による貸付にも用いられている。よって、価格変動は損益に影響を与えない。

B) 公庫は、デリバティブ、公正価値で評価され債券サーキットを構成しない貸付および発行債券の残りの部分につき、割引キャッシュフロー法を用いている。これらの発行債券も非流動的と判断されている。

レベル2の公正価値の算出には、スワップレート、為替ベースのスワップ・スプレッドおよび為替レート等の観測可能なインプットが含まれている。また、発行債券の評価は公庫の実際の資金調達費用についての見積りを含む。貸付の評価には、公庫の現在の貸付価格が含まれる。公庫は、見積もられた当座の資金調達費用に応じて実際の貸付価格を定期的に調整することにより、貸付マージンを相対的に一定に保つよう努めている。実際の資金調達費用の見積りに関する感応度は、当座の貸付価格の変動により一部相殺されることになる。これによると、価値調整全体による正味の影響は最大でプラス/マイナス2億5,000万デンマーク・クローネの範囲内と考えられる。

公庫のごく一部の発行債券およびデリバティブは、公正価値レベル3に分類されている。当該レベルは、仕組債および関連するヘッジ・デリバティブに用いられており、そのインプットは、公正価値レベル2に適用されるインプットに加えて、通貨、株式およびコモディティのボラティリティならびにそれらの相関といった観測不能なインプットから成る。発行済仕組債はデリバティブによりマイクロ・ヘッジされており、よって観測不能なインプットの変動は、発行における変動がデリバティブと逆に作用するため、利益に重要な影響を及ぼすことはない。

公庫は、金融商品を利用することにより市場リスクを解消するリスク管理戦略を追求している。この結果、レベル2およびレベル3に基づく公正価値を算出するのに用いられる見積りおよび仮定の変更による包括利益計算書および持分への影響（正味ベースでみた総額による）は縮減されており、資金調達費用および貸付価格の変動を含むにとどまる。

現在進められている「金利指標改革」は、現行の「ロンドン銀行間取引金利（LIBOR）」を代替のリスクフリーレートに置き換えることを目的としている。公庫は、その評価プロセスにおいてヘッジ会計を使用せずに、レベル2および3の公正価値の評価において割引キャッシュフローを使用しており、公庫のデリバティブのうちLIBORに基づくものの割合が少ないため、影響を受けるベンチマーク・レートの変動による公庫への影響は限定的となる。

公庫は、新しいベンチマーク・レートへの移行への処理およびフォールバック条項に関するISDAのプロトコルの遵守を目的としたプロジェクト・グループを設置した。影響を受けるキャッシュフローの大部分がヘッジされているため、新しいベンチマーク・レートへの移行は公庫の業績に重大な影響を与えないと予想される。

2021年上半期においてレベル間でいかなる組替えもなかった。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

金融商品の公正価値の詳細

2021年6月30日現在

資 産

	レベル1	レベル2	レベル3	合 計
信用機関への債権	305	0	0	305
貸付	0	183,195	0	183,195
証券ポートフォリオ	36,745	0	0	36,745
デリバティブ	0	5,257	734	5,991
資産合計	37,050	188,452	734	226,236

負 債

信用機関への債務	207	50	0	257
発行債券	0	211,155	5,815	216,970
デリバティブ	0	7,301	200	7,501
負債合計	207	218,506	6,015	224,728

2020年12月31日現在

資 産

信用機関への債権	22	0	0	22
貸付	0	184,807	0	184,807
証券ポートフォリオ	33,568	0	0	33,568
デリバティブ	0	6,854	816	7,670
資産合計	33,590	191,661	816	226,067

負 債

信用機関への債務	0	50	0	50
発行債券	0	206,368	6,360	212,728
デリバティブ	0	11,325	397	11,722
負債合計	0	217,743	6,757	224,500

(単位：百万デンマーク・クローネ)

レベル3の公正価値の詳細

	1月1日現在	新規	処分	当期利益における認識額	6月30日現在
2021年6月30日現在					
資産					
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	816	0	0	-82	734
資産合計	816	0	0	-82	734
負債					
信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	6,360	0	-507	-38	5,815
デリバティブ	397	0	-220	23	200
負債合計	6,757	0	-727	-15	6,015
	1月1日現在	新規	処分	当期利益における認識額	12月31日現在
2020年12月31日現在					
資産					
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	814	0	-11	13	816
資産合計	814	0	-11	13	816
負債					
信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	7,822	0	-1,008	-454	6,360
デリバティブ	354	0	-164	207	397
負債合計	8,176	0	-1,172	-247	6,757

注記4 相殺

公庫は、マスター・ネットティング契約（ISDAマスター契約）にクロス取引の支払いのネットティングについての合意が含まれる場合に、外国為替取引およびデリバティブを差金ベースで決済している。差金決済の場合は必然的に貸借対照表においてデリバティブの会計上の価額には相殺を含めることになる。相殺総額は、2020年12月31日現在で49億6,500万デンマーク・クローネであったのに対し、2021年6月30日現在では45億5,800万デンマーク・クローネとなった。

ISDAマスター契約にクロス取引の支払いのネットティングが含まれない場合、会計上の価額は相殺を含まない。相殺されていないデリバティブのネットティング金額は、取引相手ごとに算出される資産および負債のうち少額である方を上限とする。かかる金額は資産および負債の双方に含まれる。

ISDAマスター契約には、デリバティブに関連する片務的または双務的担保契約が含まれる。これらの契約に基づく受入担保および差入担保は、高格付の債券のみからなる。担保価額は取引相手ごとに算出され、債券が担保として提供される金融商品の純額を上限とする。担保契約は、通常取引のためではなく専ら倒産の場合に備えて担保の相殺を認める。担保価値に対して相殺は適用されない。

公庫は、貸付、リースまたは発行債券に関して、ネットティング契約の締結および担保の差入れまたは受入れを行っていない。このためこれらの金融商品は以下の表に含まれていない。帳簿価額は貸借対照表から引用している。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

貸借対照表において表示されたデリバティブ

	財政状態計算書上 相殺された金額			財政状態計算書上 相殺されていない金額		
	帳簿価額 総額	相殺額	帳簿価額	金融商品	担保	純額
2021年6月30日現在						
資産	10,549	-4,558	5,991	-847	-3,926	1,218
負債	12,059	-4,558	7,501	-847	-4,107	2,547
純額	-1,510	0	-1,510	0	181	-1,329
2020年12月31日現在						
資産	12,635	-4,965	7,670	-759	-5,386	1,525
負債	16,687	-4,965	11,722	-759	-8,052	2,911
純額	-4,052	0	-4,052	0	2,666	-1,386

注記5 流動性資金

監督当局は、前四半期末における貸付総額の25%を限度として事前調達により流動性資金を積み立てることを公庫に対して認めている。当期末の上限額は468億デンマーク・クローネであり、公庫の流動性資金は276億デンマーク・クローネであった。限度に対する流動性資金の割合は2021年度中のそれ以降にも変動しており、月末で見た場合の流動性資金の最高割合は17%であった。

流動性資金は、帳簿価額で計上された信用機関への債務、発行債券およびデリバティブから貸付総額およびリース債権を控除して算出される。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

流動性資金	2021年 6月30日	2020年 12月31日
信用機関への債務、発行債券およびデリバティブ		
信用機関への債務	257	50
発行債券	216,970	212,728
デリバティブ(負債)	7,501	11,722
デリバティブ(資産)	-5,991	-7,670
信用機関への債務、発行債券およびデリバティブ総額	218,737	216,830
貸付およびリース		
貸付	183,195	184,807
リース	7,961	7,650
貸付総額	191,156	192,457
流動性資金	27,580	24,373
流動性資金は前四半期末現在の貸付総額の25%を超過してはならない。		
流動性資金	27,580	24,373
2021年3月31日(前四半期末)現在の貸付総額	187,237	191,349
流動性資金の割合(%)	15	13

注記6 主要な指標

(単位：百万ユーロ / 百万デンマーク・クローネ)

	2021年 上半期	2021年 上半期	2020年 上半期	2019年 上半期	2018年 上半期	2017年 上半期	2020年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
当期の主要な指標							
純受取利息	24	180	221	250	235	341	440
その他の営業利益	0	3	5	7	6	6	15
その他の営業費用	-1	-7	-8	-7	-7	-7	-14
管理費用	-9	-68	-67	-62	-62	-58	-130
価値調整前当期利益	15	109	152	187	172	282	311
金融商品の価値調整	26	190	35	218	163	63	-33
当期利益課税額	-9	-66	-41	-89	-74	-76	-60
当期包括利益	31	233	145	316	261	269	218
貸付およびリース	25,708	191,156	190,698	185,878	176,788	172,271	192,547
証券ポートフォリオ	4,942	36,745	37,609	42,181	45,683	42,706	33,568
資産	31,519	234,368	236,685	237,182	229,599	230,199	233,872
発行債券	29,179	216,970	216,443	216,451	207,718	210,357	212,728
持分	1,161	8,630	8,324	8,052	7,593	7,113	8,397
当期における活動							
貸付およびリース (額面価額の純増加額)	509	3,782	3,914	2,774	3,423	4,939	5,057
貸付およびリース (額面価額の総増加額)	2,673	19,874	23,926	17,995	24,067	19,008	43,507
発行債券 (額面価額の総増加額)	4,738	35,229	26,855	31,762	42,871	54,741	43,163

(単位：百万ユーロ / 百万デンマーク・クローネ)

	2021年 上半期	2021年 上半期	2020年 上半期	2019年 上半期	2018年 上半期	2017年 上半期	2020年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
資本構成							
リスク・エクスポージャー総額 (REA) (注)	1,641	12,202	13,817	14,366	19,926	9,699	11,496
普通株式等Tier1 (CET1) 資本	1,161	8,630	8,324	8,052	7,593	7,113	8,397
自己資本	1,147	8,530	8,165	7,851	7,340	6,590	8,277
自己資本比率 (%) (注)	70	70	59	55	37	68	72
資産合計に対する持分の 比率 (%)	3.7	3.7	3.5	3.4	3.3	3.1	3.6
財務比率 (要約)							
貸付およびリースにお ける損失	0	0	0	0	0	0	0
資産に対する管理費用 の比率 (%)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06
資産に対する純受取利 息の比率 (%)	0.08	0.08	0.09	0.11	0.10	0.15	0.19
流動性資金の割合 (%)	15	15	15	18	22	24	13
正規従業員数	87	87	79	74	69	69	82

(注) 表の形式が変更されたため、各期間の数値は直接比較可能ではない。

主要な指標および財務比率は、デンマークCFA (公認証券アナリスト) 協会 (CFA Society Denmark) により発行された「勧告および財務比率」に従い算出されている。

2021年6月30日現在の為替レート：100ユーロ = 743.5822デンマーク・クローネ。

第3【外国為替相場の推移】

(1)【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2)【最近日の為替相場】

該当事項なし